

## ワシントン州：小麦作柄と気象状況

2011年8月28日現在

概況 ワシントン州東部の2011年8月28日に終わる1週間の気象は、高温・乾燥気象であった。州東部では多少降雨があったがEC及びSE地区では降雨は全く記録されなかった。EC地区の最高気温は94~99度F、最低気温は54~57度Fであり、平均気温は平年を4~7度F上回った。SE地区の最高気温は98~100度Fとなり、平均気温は平年を6~13度F上回った。1週間の州平年農作業稼働日数は6.9日(前週:7.0日)であった。Topsoil及びSubsoilの土壌水分は5年平均より良い状態が続いたが、前週より乾燥が進み、2012年産小麦の播種の為には降雨が必要であった。2011年産冬小麦は高温・乾燥気象が続き急速に完熟し収穫が進んだ。Adams郡では3週間降雨が無く、冬小麦の収穫は概ね完了し、Country Elevatorsは満杯であり、収穫された小麦が野積さだした。冬小麦の単収は良いとの報告であった。Asotin郡の冬小麦は最終段階となったが、春小麦の収穫は未だ先のことであった。Lincoln郡では冬小麦の完熟が早まり、収穫のペースが上り最終段階となった。2012年産冬小麦の播種が乾燥した圃場にて開始(dust in)された。農家は降雨を待つ状態であった。Whitman郡では50%の冬小麦が収穫され、高単収、高容積重と報告された。同郡の春小麦の収穫は全州の凡そ20%の完了であった。NE地区のSpokane郡の冬小麦の収穫も大幅に進んだが、一部圃場では未だMilky doughの時期であった。同郡の春小麦の穂は殆どが緑色をしており収穫までは時間を要する状態であった。春小麦の収穫は全州の35%にて完了していたが、完熟が遅れており、収穫された小麦中の未熟粒が心配されていた。SE地区のSoft White Wheatのタンパク質は昨年並であり、容積重は昨年より高目。但しFN値は300未満が報告された。SE地区のClub wheatの品質は、タンパク質は昨年より低目であり、FN値も低く300未満が報告された。

### 2011年8月28日現在：土壌水分及び灌漑用状況(\*)

(%)		Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	This week	11	40	44	5
	Last week	6	35	55	4
	5-Yr Ave.	21	42	35	2
Subsoil	This week	2	41	56	1
	Last week	3	37	59	1
	5-Yr Ave.	18	43	39	0
Irrigation	This week	0	1	97	2
	Last week	0	1	94	7
	5-Yr Ave.	1	6	93	0

### 2011年8月28日現在：冬小麦の生育状況(\*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr.Average
Harvested	77	53	86	92

### 2011年8月28日現在：冬小麦の作柄状況(\*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	1	3	15	46	35
Last week	1	3	15	46	35

### 2011年8月28日現在：春小麦の生育状況(\*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr.Average
Harvested	35	12	65	76

ご質問又はご意見は、OMIC USA Inc.小川正晃 [ogawa.max@omicnet.com](mailto:ogawa.max@omicnet.com)までお願い致します。 1

2011年8月28現在：春小麦の作柄状況(\*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	1	14	35	46	4
Last week	1	2	27	62	8
Last year	NA	NA	NA	NA	NA

(\*) Source: Washington Agricultural Statistic Service, NASS, Oregon Field Office, 5-Yr Ave means average of past 5 years 2006,2007,2008,2009 and 2010 Crop year.

以上